

令和5年度

学校自己評価表(計画)

学校運営計画			
学校運営方針	生徒一人ひとりの進路希望達成のため、職員の英知を結集し、学校としての組織力を高め、教育活動（学習指導、進路指導、生徒指導等）の充実を図り、地域協働推進校（アソシエイト）として、地域・保護者から信頼される学校づくりを行う。		
昨年度の成果と課題	令和5年度の重点目標	具体的目標	
<p>生徒に対して、適時適切な進路指導で学習意欲の向上を促しつつ、日々の授業の他、補習等の充実を図り、学力向上に努めた。新潟大学、埼玉大学、新潟県立大学等の国公立大学合格者が13人となった。また、就職希望者は、公務員等を含め全員（12人）が内定を得るなど成果をあげた。</p> <p>今後は、新学習指導要領を視野に入れた教科指導やICTを活用した個別最適化学習の指導体制の整備に努める。また、糸魚川市と連携し、自習室運用等の支援を受けると共に、SDGsをテーマとする探究活動「糸魚川学（I Quest.）」を展開し、7つの力（想像力、知性、独創性、対話、洞察力、誠実、自立心）を鍛え、教科横断的な学びを推進する。生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる組織的運営の学校とする。</p>	生徒一人ひとりの進路希望達成のため徹底した学習指導・学力向上対策を行う。	学年や分掌が目標を設定し、組織力を生かし、学校をあげて課題解決にあたるとともに主体的・対話的で深い学び、ICT教育などによる積極的な授業改善を図る。	
	夢を育て、目的意識を高める進路指導・キャリア教育を充実させ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、社会に有為な人材の育成を図る。	勤労観、職業観を育てることを通して目的意識の醸成を図る。 地域貢献の志を養い、自身の進路選択にも結びつく探究活動を推進する。	
	基本的な生活習慣を確立し、体力・気力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図り、「勤儉力行」の精神を涵養する。	学校行事や部活動を通して豊かな人間性と社会性を育む。 いじめ防止基本方針に基づき、学校組織として取り組む。	
	個に応じた指導により学習指導の充実を図るとともに、グローバルな視野を身に付け、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成する。	学習内容に対する興味関心を育み、分かる授業、できる授業の実践に努める。 自分の考えや意見を対外的に発信する機会を充実させる。	
	信頼される学校づくりのため、地域・保護者との連携を深め、学校の教育活動の積極的な発信を行う。	教育活動の理解・支援と改善に資するよう、ICTを活用し積極的に情報の公開と発信に努める。	
	具体的目標	具体的方策	評価
生徒一人ひとりの進路希望達成のため徹底した学習指導・学力向上対策を行う。	学年や分掌が目標を設定し、組織力を生かし、学校をあげて課題解決にあたるとともに主体的・対話的で深い学び、ICT教育などによる積極的な授業改善を図る。	確かな学力を養成する適切な教材選択	
		豊富な教材研究による授業の充実	
		小テスト・週末課題等の有効活用	
		実習・実験の効果的実施	
		学習習慣の確立に向けた学習指導	
		ICTを活用した個別最適な学習指導	
		模擬試験等の有効活用	
		他教科間の授業相互参観	
夢を育て、目的意識を高める進路指導・キャリア教育を充実させ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、社会に有為な人材の育成を図る。	勤労観、職業観を育てることを通して目的意識の醸成を図る。 地域貢献の志を養い、自身の進路選択にも結びつく探究活動を推進する。	進路説明会・進路講演会・職業講話の充実	
		高校3年間を通じたキャリア教育計画を策定	
		進学・就職等の情報の充実	
		面接指導・小論文指導の充実	
基本的な生活習慣を確立し、体力・気力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図り、「勤儉力行」の精神を涵養する。	学校行事や部活動を通して豊かな人間性と社会性を育む。 いじめ防止基本方針に基づき、学校組織として取り組む。	基本的な生活習慣の確立	
		社会規範意識の醸成（法律や校則の遵守）	
		体力・持久力の向上	
		いじめを見逃さない学校づくり	
		生徒会・委員会活動の活性化	
		部活動の活性化	
個に応じた指導により学習指導の充実を図るとともに、グローバルな視野を身に付け、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成する。	学習内容に対する興味関心を育み、分かる授業、できる授業の実践に努める。 自分の考えや意見を対外的に発信する機会を充実させる。	分掌・学年・教科等での情報の共有	
		研修会等への積極的参加	
		学校活動を通しての生徒理解	
		考えや意見を発表させる機会の充実	
		学校施設の整備	
信頼される学校づくりのため、地域・保護者との連携を深め、学校の教育活動の積極的な発信を行う。	教育活動の理解・支援と改善に資するよう、ICTを活用し積極的に情報の公開と発信に努める。	保護者や地域、中学校との交流	
		学年通信等の発行	
		保護者への進路情報提供の充実	
		授業・学校行事の公開	
		ICTを活用した情報公開、発信の充実	
成果			総合評価